

**重要意識が高い施策ランキング**

1位 消防・救急体制 4.47点(→1位 4.49)  
 1位 飲料水の供給 4.47点(↑2位 4.43)  
 1位 災害対策 4.47点(↑4位 4.39)  
 4位 防犯 4.45点(↓3位 4.41)  
 5位 交通安全 4.35点(→5位 4.32)

**満足意識が高い施策ランキング**

1位 飲料水の供給 3.92点(→1位 3.96)  
 2位 自然環境との共生 3.75点(→2位 3.86)  
 3位 保健予防体制 3.61点(→3位 3.60)  
 4位 消防・救急体制 3.54点(↑5位 3.53)  
 5位 ごみの減量 3.51点(↑9位 3.35)

※( )内は平成29年度町民アンケートとの比較

**菰** 野町では、町民皆さんの意識調査を行うためにアンケートを実施しています。アンケートでは、第5次菰野町総合計画に基づいた36項目の設問について重要意識、満足意識を1〜5点で点数化し、「わからない」、無回答などを除いて平均点を算出しました。また、「住みやすさ」「定住意向」についても聞き取りました。

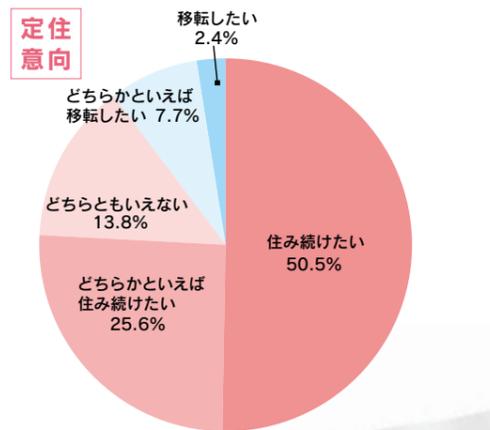


**アンケートの概要・集計方法**

<b>調査対象</b>	平成30年9月末日現在、20歳以上の町民800人	<b>調査期間</b>	平成30年10月1日～11月9日
<b>調査方法</b>	調査票による本人記入方式、郵送配付、郵送回収	<b>点数配分</b>	「非常に重要、非常に満足」 5点 「重要、満足」 4点 「どちらともいえない」 3点 「重要でない、不満」 2点 「まったく重要でない、非常に不満」 1点
<b>回収件数</b>	497件 (有効回収率62.1%)		

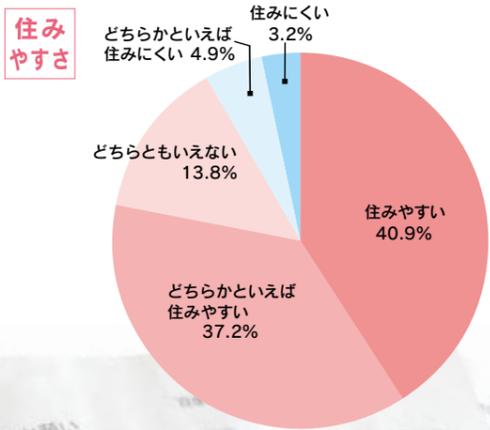
**問 菰野町への定住意向**

住み続けたい どちらかといえば住み続けたい	76.1%(77.8%)
移転したい どちらかといえば移転したい	10.1%(10.5%)



**問 菰野町の住みやすさ**

住みやすい どちらかといえば住みやすい	78.1%(80.1%)
住みにくい どちらかといえば住みにくい	8.1%(6.9%)



**調査結果**

重要意識平均は4.04、満足意識平均は3.22となりました。また、重要意識は36項目全てが中間点の3.00に対してプラス評価となり、満足意識は36項目中30項目がプラス評価でした。このうち、重要意識については、「消防・救急体制」などの生活安全分野に対する重要意識が特に高く、満足意識については、「飲料水の供給」「自然環境との共生」に対する満足意識が昨年に引き続き高くなっています。住みやすさ、定住意向についても住みやすい、住み続けたいと感じている方の割合が住みにくい、移転したいと感じている方の割合を大きく上回りました。

※アンケート結果の詳細は町ホームページ、役場本庁企画情報課、各地区コミュニティセンター窓口でご覧いただけます。

**小中学校 大規模改造事業**

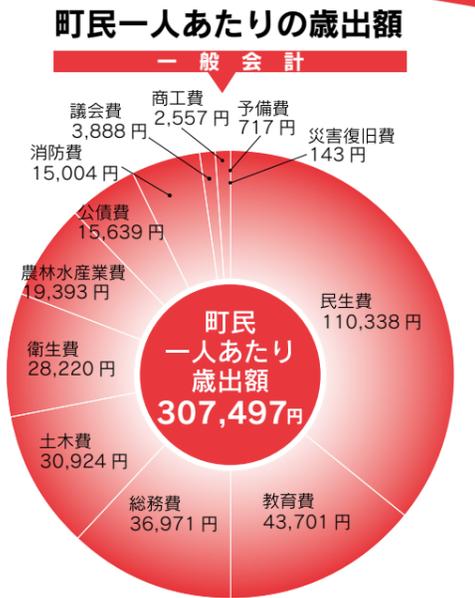
**73,698**万円  
教育課

老朽化が著しい小学校および中学校校舎の大規模改造工事（屋根防水、外壁塗装、内装改修等）の工事を実施します（菰野小学校、菰野中学校、八風中学校）。

**社会教育施設等 長寿命化計画策定事業**

**300**万円  
教育課

町民センター等の社会教育施設や体育センター等の社会体育施設の老朽化に対し、長期的かつ計画的に施設を管理していくため、長寿命化計画を策定します。



平成31年1月1日現在の住民基本台帳人口（41,854人）で計算  
※四捨五入の関係で合計額等が合わない場合があります。

**主要な予算を PICK UP**

令和元年度の主要事業をご紹介します

**防災マップ 更新事業**

**406**万円  
総務課

土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域等を反映した防災マップを作成し、全戸配布することで、災害危険箇所を周知し平時からの備えを促します。

**防災行政無線 更新事業**

**6,941**万円  
総務課

現在使用しているアナログ方式の防災行政無線（移動系）は機器が老朽化しているため、デジタル方式の防災行政無線に更新し、災害時における通信手段の確保を図ります。

**視覚障害者 生活訓練事業**

**77**万円  
健康福祉課

視覚障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、専門員が歩行訓練やパソコンの使用、調理、掃除などの生活訓練を提供します。

**小型動力ポンプ付 水槽車導入事業**

**5,467**万円  
消防本部

高速道路や山岳地等で発生する火災に対して水利を確保するため、単独での放水活動も可能な小型動力ポンプ付水槽車を導入し、火災防ぎよ体制の構築を図ります。

**母子保健事業 (産婦健康診査、産後ケア)**

**417**万円  
子ども家庭課

産後2週間および1か月の産婦に対して健康診査を行い、母体の回復や授乳状況、精神状態を把握することで、産後ケア等が必要な産婦の早期把握と必要な支援につなげます。

**道路施設 長寿命化事業**

**1,600**万円  
都市整備課

道路舗装や側溝などの道路施設について個別施設計画に基づくライフサイクルコストを考慮した計画的な修繕を行い、道路施設の長寿命化を図ります。

